

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 カーメイト
 コード番号 7297 URL <http://www.carmate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 村田 隆昭
 (氏名) 坂尻 一之

TEL 03-5926-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	13,141	1.7	1,355	16.1	1,162	21.5	704	5.8
21年3月期第3四半期	12,925	—	1,168	—	956	—	665	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	92.67	—
21年3月期第3四半期	87.59	87.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	15,239	7,507	49.3	987.81
21年3月期	13,650	6,819	50.0	897.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,507百万円 21年3月期 6,819百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,817	3.7	954	20.7	677	45.0	338	42.5	44.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	7,928,885株	21年3月期	7,928,885株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	328,386株	21年3月期	328,268株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	7,600,587株	21年3月期第3四半期	7,600,773株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、製造業等の一部では持ち直しの兆しも見られつつありますが、雇用・賃金情勢は依然として厳しく、個人消費の先行きには不透明感も強まっており、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況下にあって、当社グループは引き続き、新・旧製品の適時入れ替え、製品在庫管理の徹底、販売費及び一般管理費の削減などの効率化を推進する一方、海外市場への積極的な展開、O E M ビジネスの回復に努めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期累計期間の売上高は車用小物類、チャイルドシート等は売上が減少しましたが、芳香剤、H I D ランプ等が好調に推移し、13,141 百万円と前年同四半期と比べ 216 百万円 (1.7%) の増収となりました。損益面につきましては、販売価格の低下、前年同四半期の「棚卸資産の評価に関する会計基準」適用に伴う製品低価評価損の戻入がなくなったこと等により原価率の悪化がありました。営業利益は販売費及び一般管理費の削減に努めた結果 1,355 百万円と前年同四半期に比べ 187 百万円 (16.1%) の増益となりました。また経常利益は 1,162 百万円と前年同四半期に比べ 206 百万円 (21.5%)、四半期純利益は 704 百万円と前年同四半期に比べ 38 百万円 (5.8%) の増益となりました。

《当社グループの四半期業績の特性について》

当社グループは冬季製品の占める割合が高いため業績にも季節的変動があり、売上、利益ともに第 3 四半期に集中する傾向にあります。特に第 4 四半期は最も少なく利益はマイナスとなります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ 16.9%増加し、11,042 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が 2,786 百万円増加し、また、たな卸資産が 878 百万円、現金及び預金が 587 百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ 0.2%減少し、4,197 百万円となりました。

この結果、当第 3 四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ 11.6%増加し、15,239 百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ 10.4%増加し、5,036 百万円となりました。これは未払法人税等が 341 百万円、返品調整引当金が 234 百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ 18.8%増加し、2,695 百万円となりました。これは長期借入金が 410 百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第 3 四半期末における負債合計は前連結会計年度末に比べ 13.2%増加し、7,731 百万円となりました。

(純資産)

株主資本は前連結会計年度末に比べ 8.9%増加し、7,694 百万円となりました。これは利益剰余金が 628 百万円増加したことなどによるものです。

評価・換算差額等は前連結会計年度末に比べ 60 百万円増加し、186 百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が 80 百万円増加し、為替換算調整勘定が 20 百万円減少したことなどによるものです。

この結果、当第 3 四半期末における純資産は前連結会計年度末に比べ 10.1%増加し、7,507 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は 49.3%となり、前連結会計年度末比 0.7 ポイントの悪化となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては前回公表 (平成 21 年 10 月 30 日) の業績予想に変更はありません。

4 . その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 3 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第 3 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用の計算

一部の子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,434	4,021
受取手形及び売掛金	4,332	1,545
有価証券	469	319
製品	1,662	2,453
仕掛品	159	180
原材料及び貯蔵品	213	279
その他	774	653
貸倒引当金	△3	△11
流動資産合計	11,042	9,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,015	1,078
機械装置及び運搬具（純額）	193	174
工具、器具及び備品（純額）	386	404
土地	483	483
建設仮勘定	—	28
有形固定資産合計	2,078	2,169
無形固定資産	247	241
投資その他の資産		
投資有価証券	744	690
長期貸付金	231	242
その他	896	926
貸倒引当金	△0	△63
投資その他の資産合計	1,871	1,796
固定資産合計	4,197	4,207
資産合計	15,239	13,650
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,865	1,742
短期借入金	336	336
1年内返済予定の長期借入金	233	247
1年内償還予定の社債	383	355
未払法人税等	412	70
賞与引当金	224	341
返品調整引当金	627	393
その他	953	1,077
流動負債合計	5,036	4,562

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
社債	378	385
長期借入金	753	343
退職給付引当金	924	879
役員退職慰労引当金	401	404
その他	236	256
固定負債合計	2,695	2,268
負債合計	7,731	6,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,637	1,637
資本剰余金	2,422	2,422
利益剰余金	3,817	3,188
自己株式	△182	△182
株主資本合計	7,694	7,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38	△41
土地再評価差額金	△196	△196
為替換算調整勘定	△27	△7
評価・換算差額等合計	△186	△246
純資産合計	7,507	6,819
負債純資産合計	15,239	13,650

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	12,925	13,141
売上原価	7,870	8,304
売上総利益	5,055	4,837
販売費及び一般管理費	3,886	3,481
営業利益	1,168	1,355
営業外収益		
受取利息	29	9
受取配当金	19	16
その他	5	4
営業外収益合計	54	30
営業外費用		
支払利息	45	22
売上割引	124	127
為替差損	88	39
その他	7	33
営業外費用合計	265	223
経常利益	956	1,162
特別利益		
固定資産売却益	4	1
投資有価証券売却益	—	0
償却債権取立益	2	3
解約金収入	21	—
特別利益合計	28	5
特別損失		
固定資産除却損	9	17
固定資産売却損	—	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	5	12
特別損失合計	14	30
税金等調整前四半期純利益	970	1,137
法人税、住民税及び事業税	321	480
法人税等調整額	△16	△46
法人税等合計	305	433
四半期純利益	665	704

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以 上